



**2020年3月期  
第3四半期  
決算補足説明資料**

**2020年2月10日**  
(証券コード6381 東証1部 機械)



	2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		前年同期比			2019年11月11日に 発表した予想値対比	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	28,695	—	28,201	—	-493	-1.7	—	39,000	72.3
営業利益	3,434	12.0	2,845	10.1	-588	-17.1	-1.9	3,800	74.9
経常利益	3,784	13.2	3,135	11.1	-649	-17.2	-2.1	4,000	78.4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,434	8.5	2,005	7.1	-428	-17.6	-1.4	(通期)2,400	83.5
平均為替レート 円/\$	109.61	(実績)	109.15	(実績)	0.46 円/\$の円高				
平均為替レート 円/€	130.97	(実績)	122.66	(実績)	8.31 円/€の円高				
平均為替レート 円/RMB	16.85	(実績)	15.90	(実績)	0.95 円/RMBの円高				

(%) (P) は少数点以下  
第2位を四捨五入

**売上高は1.7%の減収 営業利益は17.1%の減益  
経常利益は17.2%の減益 当期純利益は17.6%の減益**

**減収・減益となりました。**

# 2020年3月期3Q 連結業績 損益計算書

	2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		前年同期比			2019年11月11日に 発表した予想値対比	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率 変化 (P)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
<b>売上高</b>	<b>28,695</b>	—	<b>2,801</b>	—	<b>-493</b>	<b>-1.7</b>	—	<b>39,000</b>	<b>72.3</b>
売上原価	16,197	56.4	16,006	56.8	-190	-1.2	0.3		
売上総利益	12,498	43.6	12,195	43.2	-303	-2.4	-0.3		
販管費	9,064	31.6	9,349	33.2	285	3.1	1.6		
<b>営業利益</b>	<b>3,434</b>	<b>12.0</b>	<b>2,845</b>	<b>10.1</b>	<b>-588</b>	<b>-17.1</b>	<b>-1.9</b>	<b>3,800</b>	<b>74.9</b>
営業外収益	437	1.5	476	1.7	39	9.0	0.2		
営業外費用	86	0.3	186	0.7	99	114.9	0.4		
<b>経常利益</b>	<b>3,784</b>	<b>13.2</b>	<b>3,135</b>	<b>11.1</b>	<b>-649</b>	<b>-17.2</b>	<b>-2.1</b>	<b>4,000</b>	<b>78.4</b>
特別利益	10	0.0	58	0.2	47	429.4	0.2		
特別損失	44	0.2	79	0.3	35	81.4	0.1		
<b>税金等調整前 純利益</b>	<b>3,751</b>	<b>13.1</b>	<b>3,113</b>	<b>11.0</b>	<b>-637</b>	<b>-17.0</b>	<b>-2.0</b>		
法人税等	1,035	3.6	876	3.1	-158	-15.3	-0.5		
非支配株主に帰属する 四半期純利益	282	1.0	231	0.8	-50	-17.9	-0.2		
<b>親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>2,434</b>	<b>8.5</b>	<b>2,005</b>	<b>7.1</b>	<b>-428</b>	<b>-17.6</b>	<b>-1.4</b>	(通期) <b>2,400</b>	<b>83.5</b>
平均為替レート円/\$	109.61	(実績)	109.15	(実績)	0.46	円/\$の円高			
平均為替レート円/€	130.97	(実績)	122.66	(実績)	8.31	円/€の円高			
平均為替レート円/RMB	16.85	(実績)	15.90	(実績)	0.95	円/RMBの円高			

①売上高：前年同期比-493百万円 前期までに連結子会社化したイタリア（第2四半期以降）及び台湾（第3四半期以降）の子会社による影響額は+372百万円。為替影響額は-719百万円

②原 価：前年同期比原価率は0.3P増加

③販売管理費：前年同期比+285百万円増加（販管費率+1.6P） 上記①の新連結会社分としては+142百万円

④営業外収益/費用：持分法による投資利益の増加+34百万円、前年同期比為替差損+93百万円（93百万円の利益減少）

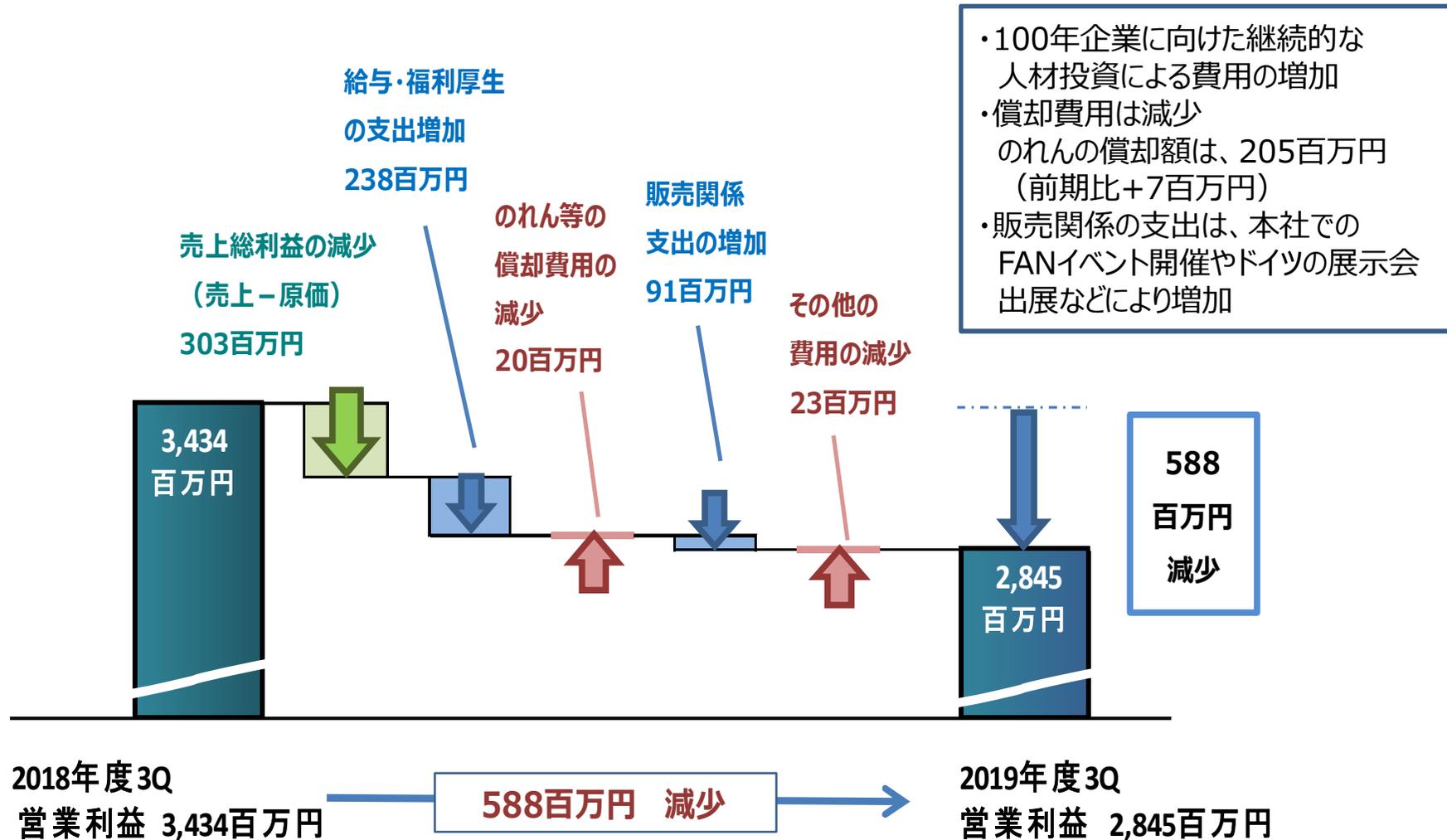
単位：百万円

	2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期予想値		
	実績	構成比	実績	構成比	目標額	構成比	
<b>売上高</b>	32,817	100.0%	38,807	100.0%	<b>39,000</b>	<b>100.0%</b>	
<b>内訳</b>	圧縮機	16,283	49.6%	21,212	54.7%	—	—
	真空機器	1,850	5.6%	1,841	4.7%	—	—
	エアエナジー事業部	18,133	55.3%	23,053	59.4%	<b>22,200</b>	<b>56.9%</b>
	塗装機器	12,073	36.8%	13,107	33.8%	—	—
	塗装設備	2,609	8.0%	2,645	6.8%	—	—
	コーティング事業部	14,682	44.7%	15,752	40.6%	<b>16,800</b>	<b>43.1%</b>
<b>営業利益</b>	3,824	11.7%	4,339	11.2%	<b>3,800</b>	<b>9.7%</b>	
<b>経常利益</b>	4,352	13.3%	4,701	12.1%	<b>4,000</b>	<b>10.3%</b>	
<b>当期純利益</b>	2,809	8.6%	2,947	7.6%	<b>2,400</b>	<b>6.2%</b>	
為替レート ¥/\$	112.19	(実績)	110.20	(実績)	105.00	(想定)	
為替レート ¥/€	126.67	(実績)	125.15	(実績)	115.00	(想定)	
為替レート ¥/RMB	16.63	(実績)	16.72	(実績)	15.50	(想定)	
<b>配当 中間期+期末=年間</b>	10円+10円=20円		11円+11円=22円		12円+12円=24円		

※配当について：2020年3月期は予想値です。

# 2020年3月期3Q 連結業績 営業利益の変動要因

記載している数値は、前期対比の増減額

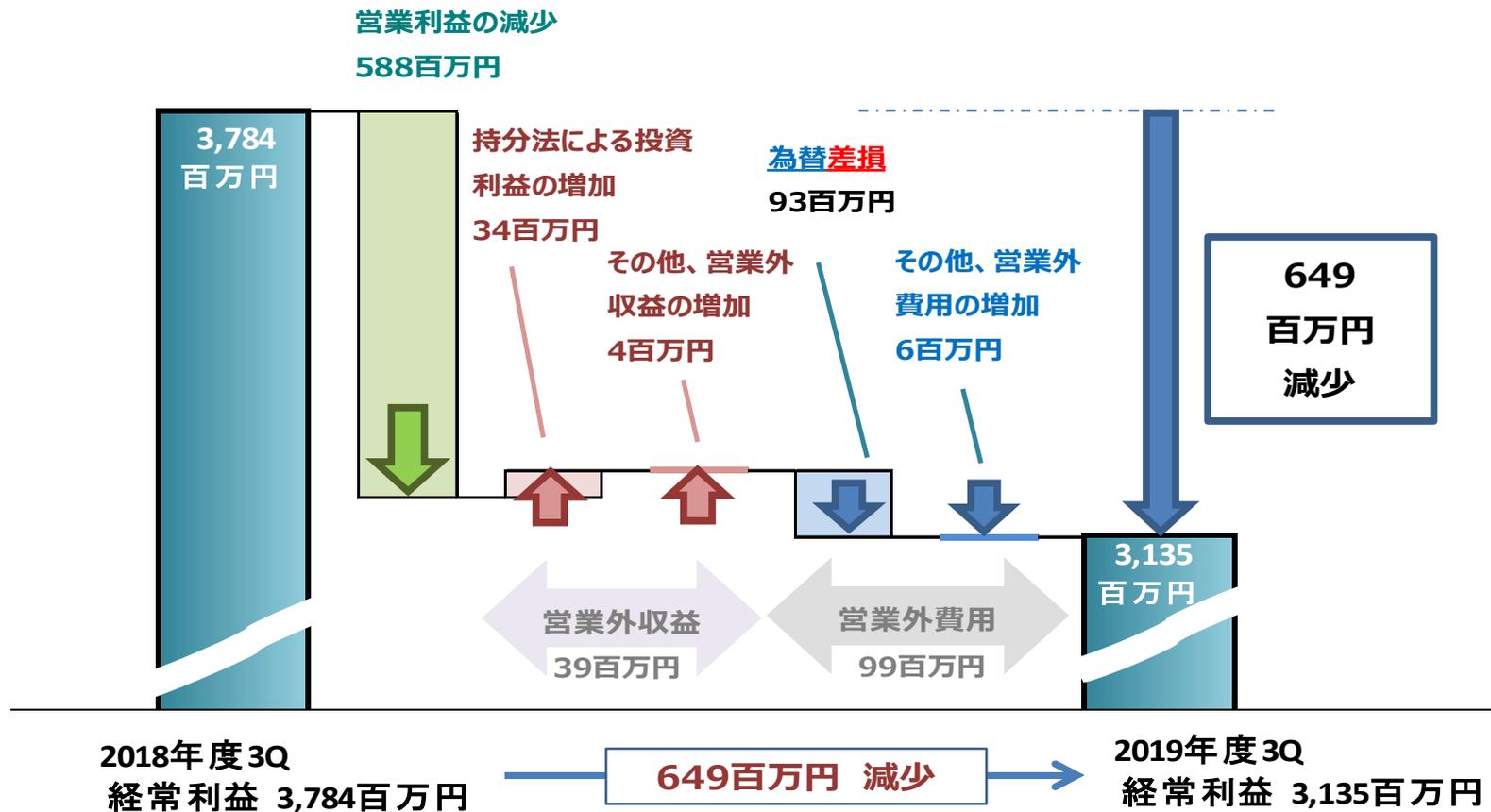


# 2020年3月期3Q 連結業績 経常利益の変動要因

記載している数値は、前期対比の増減額

為替の影響合計  
93百万円の減益

↑ 利益押し上げ要因  
↓ 利益押し下げ要因

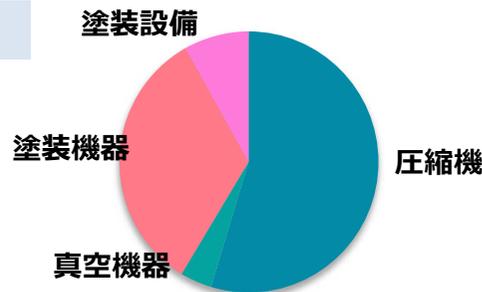


# 2020年3月期3Q 連結業績

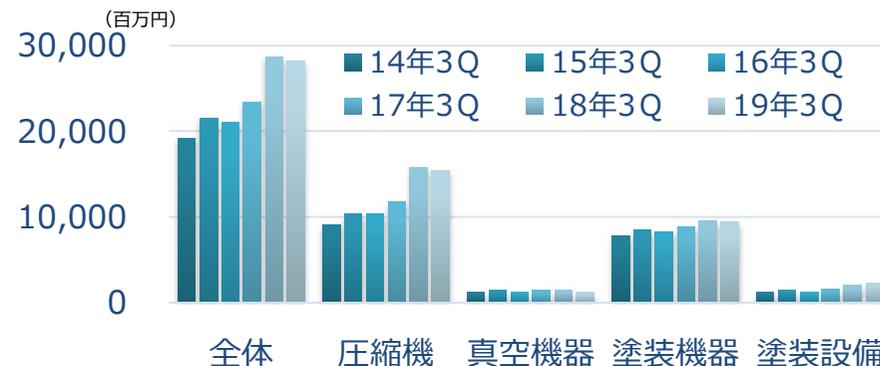
## 売上高 製品別

		2019年3月期3Q		2020年3月期3Q		前年同期比 増減	
		売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エアエナジー 事業	圧縮機	15,760	54.9	<b>15,417</b>	<b>54.7</b>	-342	-2.2
	真空機器	1,344	4.7	<b>1,120</b>	<b>4.0</b>	-224	-16.7
小計		17,104	59.6	<b>16,537</b>	<b>58.6</b>	-566	-3.3
コーティング 事業	塗装機器	9,597	33.4	<b>9,376</b>	<b>33.2</b>	-220	-2.3
	塗装設備	1,994	7.0	<b>2,286</b>	<b>8.1</b>	292	14.7
小計		11,591	40.4	<b>11,663</b>	<b>41.4</b>	72	0.6
合計		28,695	100.0	<b>28,201</b>	<b>100.0</b>	-493	-1.7

構成比



推移



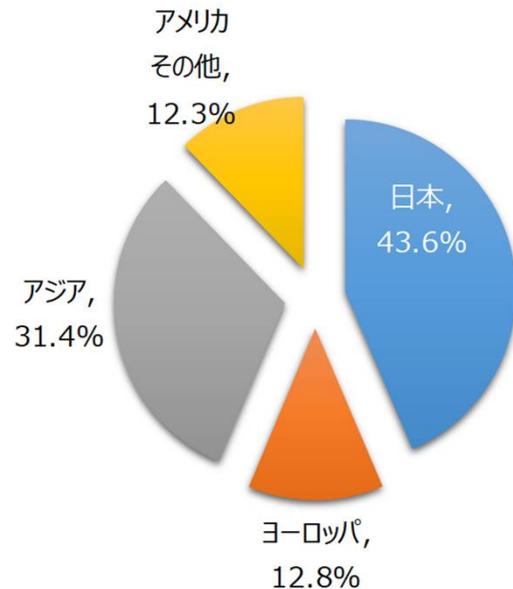
### エアエナジー事業

- ・圧縮機 : 消費増税前の駆け込み需要の反動減による影響が大きかった日本を含む全エリアで減少
- ・真空機器 : その他地域に含まれるアメリカで増加も、日本、ヨーロッパでは1Qより減少傾向が続く

### コーティング事業

- ・塗装機器 : 日本は伸長するも、アジアをはじめとする海外全エリアにて減少
- ・塗装設備 : 日本及びアジアに含まれる中国の実績により伸長

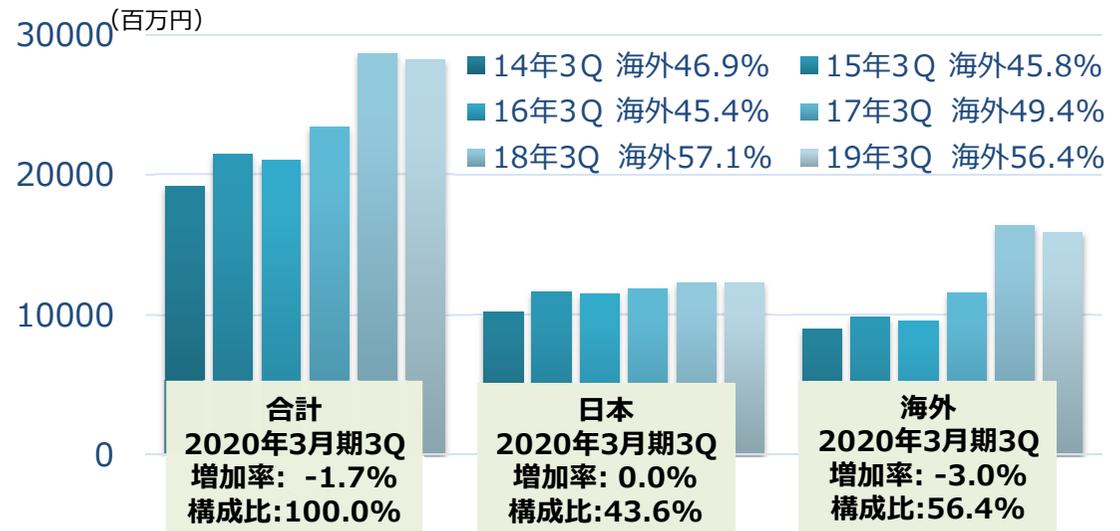
### 売上高の地域別構成比



- \* 海外の売上高比率は、前年比で0.7P減少
- \* 日本は横ばい。海外ではヨーロッパ、アジア、アメリカ・その他のすべてにおいて減少。

※納入地ベースでの実績換算をしています。

### ● 日本と海外の売上高推移



### ● 海外の売上高推移 (合計を100とする)



# 2020年3月期3Q 連結業績 売上高 製品/地域別の増減

	全体	エアエナジー事業		コーディング事業	
		圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	0.0%	▼	×	△	◎
ヨーロッパ	-3.0%	▼	×	▼	-
アジア	-1.0%	▼	●	●	◎
北米その他	-7.8%	●	◎	▼	×
海外 計	-3.0%	▼	×	●	▼
計	-1.7%	▼	×	▼	◎

◎ 10%～  
△ 0%～3%  
○ 3%～10%  
▼ 0%～-3%  
● -3%～10%  
× -10%

(百万円)	2019年3月期3Q	2020年3月期3Q	増減金額	前年同期比
日本	12,298	<b>12,297</b>	-1	0.0%
ヨーロッパ	3,711	<b>3,599</b>	-112	-3.0%
アジア	8,931	<b>8,842</b>	-88	-1.0%
北米その他	3,754	<b>3,462</b>	-291	-7.8%
合計	28,695	<b>28,201</b>	-493	-1.7%

- ・日本では、圧縮機における増税前の駆込み需要に対する反動、及び真空機器における半導体製造市場の冷え込みなどにより販売が減少も、塗装ブースや塗装設備の受注、販売が好調に推移しており、ほぼ横ばいで推移。
- ・ヨーロッパでは、工業塗装市場、自動車補修市場共に、4Qに向けた展示会・各種プロモーション活動へ注力。真空機器は3Q連結会計期間では装置メーカー向けに伸長。
- ・アジアでは、中国における車載向け圧縮機ユニットや大形圧縮機の販売が継続して減少。真空機器は中国での装置メーカー開拓が進展も、台湾にて前年のような物件がなく減少。塗装機器では、販売が減少しているインド、タイにて販路の再構築を推進中。塗装設備は中国を主として好調に推移。
- ・北米その他では、アメリカにおける車載や医療向け圧縮機ユニットが堅調に推移も、自動車補修塗装市場の販路再編やプロモーション活動が主体となり、塗装機器において減少。オーストラリアの圧縮機サービス事業については、営業体制を再構築中。

(百万円)

	設備投資額 売上対比	減価償却 売上対比	研究開発費 売上対比	売上高
2018年3月期  (実績)	2,458 7.5% (計画値 2,500) 実行率 98.3% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,238 3.8% (計画値 1,200)  103.2%	1,078 3.3% (計画値 1,200) 実行率 89.8% ・継続投資	32,817
2019年3月期  (実績)	2,080 5.4% (計画値 2,500) 実行率 83.2% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・秋田、福島工場食堂リニューアル、 コミュニケーションラウンジ ・本社技術開発研究施設	1,618 4.2% (計画値 1,400)  115.6%	1,154 3.0% (計画値 1,200) 実行率 96.2% ・継続投資	38,807
2020年3月期  (3Q累計実績)	計画 2,500 6.4% ・各種工作機械、自動化設備等 ・製品開発 ・IT関連投資 ・その他 (953) 実行率 38.1%	計画 1,800 4.6%  (1,103) 61.3%	計画 1,200 3.1% ・継続投資 (727) 実行率 60.6%	39,000

注) 2020年3月期は計画値 研究開発費は、研究開発に係る一般管理費と製造経費の合計です。

## 中国における新型コロナウイルスによる影響について

ウイルス感染の拡大を受けて、現地子会社の事業活動を休止しておりましたが、2月10日より稼働を開始いたしました。アネスト岩田フィーラー社の製造部門のみ2月17日より稼働予定です。

対象：アネスト岩田上海（塗装機器の販売）  
アネスト岩田東莞（塗装設備の製造・販売）  
アネスト岩田嘉興（塗装機器の製造）  
アネスト岩田フィーラー（圧縮機の製造・販売、真空機器の販売）  
SCR社/GST社（中形圧縮機の製造・販売）

また、日本人スタッフは、一部の人員を除いて帰国しており、中国への出張につきましては、緊急時を除き、2月15日まで禁止として社内徹底をしております。

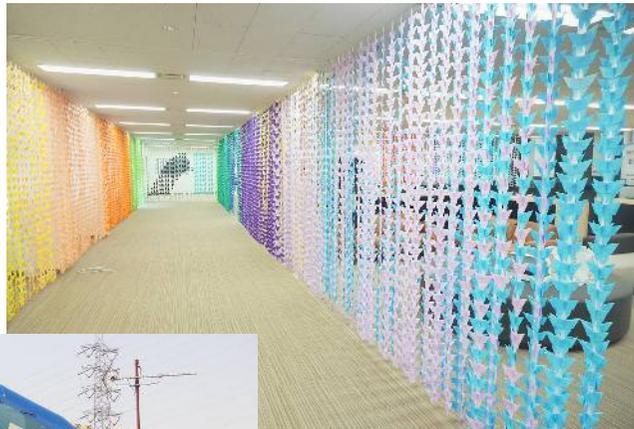
今期の業績に対する影響は、海外子会社の連結対象期間等の点から、現時点では軽微であると認識しておりますが、生産停止期間が明確となり、修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

ANEST IWATA Presents

## わくわく研究所

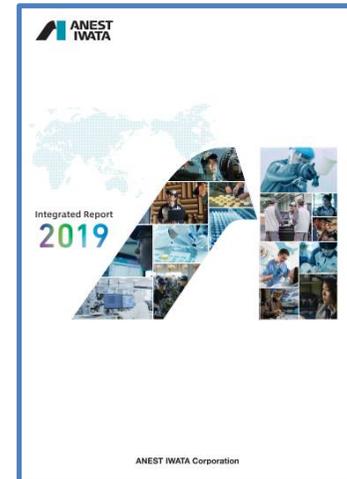
in YOKOHAMA

2019年11月9日に、横浜本社にて開催いたしました。周辺地域にお住いの方々や従業員の家族を対象に、アトラクションやフードトラック、社内見学会などを通じて、楽しみながら当社に対するご理解を深めていただきました。



←従業員が中心となって作り上げた折り紙の蝶。その数、20,226！

↓当社製真空ポンプを利用した、真空機器実験教室では、たくさんの子供達に参加いただきました。



2019年11月に英訳版を製作・発行いたしました。  
↓こちらから、ご覧ください。



## 将来見通しに関する記述、及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。